

分娩について

静内診療所 池田 寛樹

平成22年3月 酪農学園大学卒業

同年4月 日高軽種馬農協入社

静内診療所勤務 現在に至る

今回は分娩について何点かお話しさせていただきたいと思います。基本的な内容ですが、大切なことですのでどうぞ最後までお付き合いください。

破水を見逃さない

破水は、胎子が胎盤を破り黄褐色の尿膜水が排出されることにより起こるため、分娩が始まるサインとなります。一般的に破水から娩出までは20～30分以内となりますが、これ以上時間がかかるようだと異常が疑われます。破水から分娩まで40分以上経過すると胎子の死亡リスクが高くなるとの報告があります。分娩が正常かどうかの判断基準、そして分娩時間の延長が胎子の生死にも関わるため破水以降の時間を記録することは大切です。

破水後には胎位の確認を

破水が確認できれば、ビニール手袋などを装着し清潔な状態で外陰部より手を挿入し胎子の位置を確認します。正常であれば蹄底が下向きの2本の前肢とその上に鼻先が触知できます。正常であれば破水から5分以内には足胞（羊膜に包まれた前肢）が確認されます。この時に足胞内の羊水の色調（正常では透明）を確認しましょう。また、分娩直前まで胎子は子宮内で仰向けの状態です。多くは破水の段階で180°回転して娩出されますが、回転の途中で仰向けや横向きのままで破水す

ることもあります。その場合は曳き運動や寝起きの繰り返しをさせることで自然に整復されることもあるのでまずは試してみましょう。

なるべく自然分娩を

胎位が正常であることが確認できれば、極力自然に娩出されるのを待ちましょう。牽引がやむを得ない場合は、ゆっくりといきみに合わせることを心がけましょう。過度の牽引は胎子や母馬を損傷させることがあります。また、産後の子宮の回復にも影響を与えるため注意が必要です。

臍帯は無理に切らない/切らせない

娩出されたら、子馬の飛節以下を産道に残した状態で5分程維持させるように心がけましょう。そうすることで母馬が急に立ち上がることを防ぎ、胎盤の血液を十分に子馬へ移行させることで、自然に臍帯が切れる状態になることを促します。このことは後の臍帯トラブルのリスクを減らすことにつながります。また、胎盤内の血液が減ることは、後産の排出を容易にし、後産停滞の予防にもなります。

異常を感じたら早急に獣医師へ連絡を

破水から5分以上経過しても両前肢と鼻先が確認できない、確認できたが10分以上経過しても分娩が全く進まない、全く違う場所が触知するなどの場合は何らかの異常がある可能性があります。また、早期胎盤剥離（外陰部から赤い袋状の胎盤が見える）や逆子（後肢からの娩出）、羊水が濁っているもしくは出血しているなど早急な対処が必要な場合もあります。異常を感じた場合はすぐに獣医師へと連絡しましょう。

最後までおつきあいいただきありがとうございました。